

# 教員の長時間・過重労働の実態

## －教育現場からの報告と問題提起－

発表者   ：   大阪過労死を考える家族の会      清家智美

## 「過労死防止学会第7回大会 文化会報告」

発表者： 大阪過労死を考える家族の会会員 清家智美

報告論題： 教員の長時間・過重労働の実態 ―教育現場からの報告と問題提起―

報告趣旨： 中学校国語科教師として非常勤講師の5カ月間（202010~202103）勤務を終えて、現場の現状を多くの人に知ってもらい、教育現場への関心を強め、教育の重要性を実感してほしい。

報告内容：

- ① 勤務形態
- ② 勤務内容
- ③ 常勤講師と非常勤講師
- ④ 教育改革による現場の混乱

発表者

大阪過労死を考える家族の会 清家智美

[現在の状況]

亡夫である清家一弘の過労死事件に関する裁判中

- 天満労働基準監督署の遺族補償給付不支給処分の  
取り消しを求めて取消訴訟（行政訴訟）を提起  
・・・現在も進行中
- 夫の雇用主に対する民事訴訟を提起  
・・・現在も進行中



帝塚山学院大学文学部日本文学科卒業

フリーアナウンサー＆ライター

岡山大学非常勤講師

元 ラジオ大阪放送記者

朝日21関西スクエア会員

大阪女性文芸協会会員 飛鳥応援大使

介護ヘルパー きものコンサルタント

IAA国際アロマニスト協会関西支部長

中学校国語科教師

言葉の魅力と重要性に着眼し、正しく美しい日本語と日本文化の普及・教育に努めている。

[坂口智美]

# ① 大阪府の公立中学校非常勤講師になるまで

- プロフィール （坂口智美）  
フリーアナウンサー＆ライター＆話し方講師（大学・一般）
- 教員免許更新講習で2020年8月母校へ（帝塚山学院大学狭山キャンパス）
- 30時間ー1日6時間×5日間
- 講師登録（大阪府）
- 教育委員会からの問い合わせー講習開始前（7月）から  
講師を熱望される

## ② 更新免許取得(9月)

- 教育委員会での面接－7月
- 履歴書、健康診断書、誓約書、提出－10月から勤務
- 校長面談－10/14
- 授業内容踏襲（同学年国語科教師）
- 授業見学
- 中間テスト見学
- 授業開始－10/20

### ③ 勤務形態

- 中学 2 年生－国語科、週4回、50分授業
- 1学年－40名×6クラス
- 2－5、2－6、2クラス担当（ほかの4クラスは教員担当）  
月曜日と木曜日－1時限目、3時限目  
火曜日と水曜日－2時限目、4時限目
- 始業－8:20 朝読/連絡－8:20～8:35  
1時限目8:40～9:30  
2時限目9:40～10:30  
3時限目10:40～11:30  
4時限目11:40～12:30  
休憩時間10分・・・教室と職員室の移動時間、2分前に教室到着

## ④ 仕事内容

### ① 授業

- ・ 教科書  
授業用ノートのプリントづくり
- ・ 文法  
文法ワーク
- ・ 小テスト  
漢字（毎週）  
白プリント（单元ごと）
- ・ テスト解説

② ノート点検・評価－授業用ノート・文法・漢字ワーク・漢字やり直し・白プリント

③ テスト採点－漢字・中間・期末・実力

④ テスト作成－漢字・中間・期末・実力

すべて2クラス、80人分！！

## ⑤ 勤務内容

- 時給2880円
- 交通費－ミニバイクで通勤－1日100円
- 給食費－1食300円
- 授業は1日2時間－ $2880 \times 2 = 5760$ 円  
実務－1日6時間～7時間＝時給820円以下・・・聖職？  
大阪府の最低賃金＝964円（10月から992円に）
- 備品は、個人持ち－筆記用具、ノート、ファイル、ホッチキス、セロテープ、ゼムクリップ など・・・市町村によって違う？

時間が、無い！！

# 休む時間もない！

- 授業間の休憩時間10分

教室と職員室の移動時間  $2分 \times 2 = 4分$ 、  
2分前に教室到着必須  
残り4分

- 生徒の家族からの電話
- 生徒の忘れ物（名札、帽タイ、マスク）
- 地域住民からのクレーム、警察からの電話



職員室は戦場

## 半月後、教育委員会へ退職願いを・・・

- 授業時間だけでない業務の多さ
  - 相手が人間（生徒）なので手が抜けない
  - 教師としての責任感－教育が生徒の一生を左右する
- 
- 精神的な負担
  - 肉体的な疲労
  - 家族の介護

# 業務の改善

- 助っ人要員に依頼  
国語科教師でなくてもよい業務
- 80人のノート確認、ハンコ押し
- ノート運びを生徒に（教室⇄職員室）



まずは肉体労働の軽減

## ⑥ 常勤教師の多忙さ

- 担任、副担任
- 成績評価
- 生活指導
- クラブ活動顧問
- 学校行事
- 給食指導
- 掃除指導
- その他、電球替え、植木剪定、コロナ禍における消毒、床油引き、など

## ⑦ 教師—他の世界を知らない危うさ

- 休み時間の短さ
- “先生”という言葉の麻薬
- 子供への愛情と義務から手が抜けない
- 叱れない現状（教師を尊敬しない生徒たち）
- 教科教育以外の仕事が多すぎる
- 40人クラスと支援クラスの密度差が大
- 成績評価の複雑さ
- ギガスクール構想の理想論（家庭環境の違い）
- 一人1台タブレット（ロイドノート）
- 保護者の強さ（生徒はお客様？）

## ⑧ 教育の停滞

- 指示してもらわないと行動できない生徒たち
- 授業内容を低いレベルに合わせなければいけない現状
- いじめの無い仲の良いクラスが理想
- 生徒も教師も管理されている現場  
(ノートのとり方から成績評価まで)
- 現場を知らない教育委員会 (市役所の職員)
- プライベートの時間がほとんどなく、  
時間と命を削る教師たち (8時から20時まで)
- 給与の低さーモチベーション低下 (大阪府)
- いつまでたっても40人学級

心と体と時間・・・

命を削って働く教師たち！！

## 離職式で・・・

- 「救世主のように現れた清家先生」
- あいさつ

「過労死しないでください！」

## ⑨ 今後の課題

- 教科教師の増員
- 専門職の増員（カウンセリング・クラブ活動）
- 給与アップ
- 生徒の自主性が育つ学び
- 少人数学級
- ゆとりあるコミュニケーション
- 教員の心身の健康



教育は国の根幹では？



安心して学べる＝平和な世界

## ⑩ 子供たちは、国の未来・宝もの

- 子供たちが輝ける未来へ
- 学校（学び）と家庭（くらし）の充実
- 医療、教育、介護の充実
- 自己責任から社会責任へ
- 政治家を選ぶ権利と義務

ご清聴、ありがとうございました。

# 質 疑 応 答

# 教員の長時間・過重労働の実態

## －教育現場からの報告と問題提起－

発表者     ：   大阪過労死を考える家族の会     清家智美